Anyアート2023 記録集

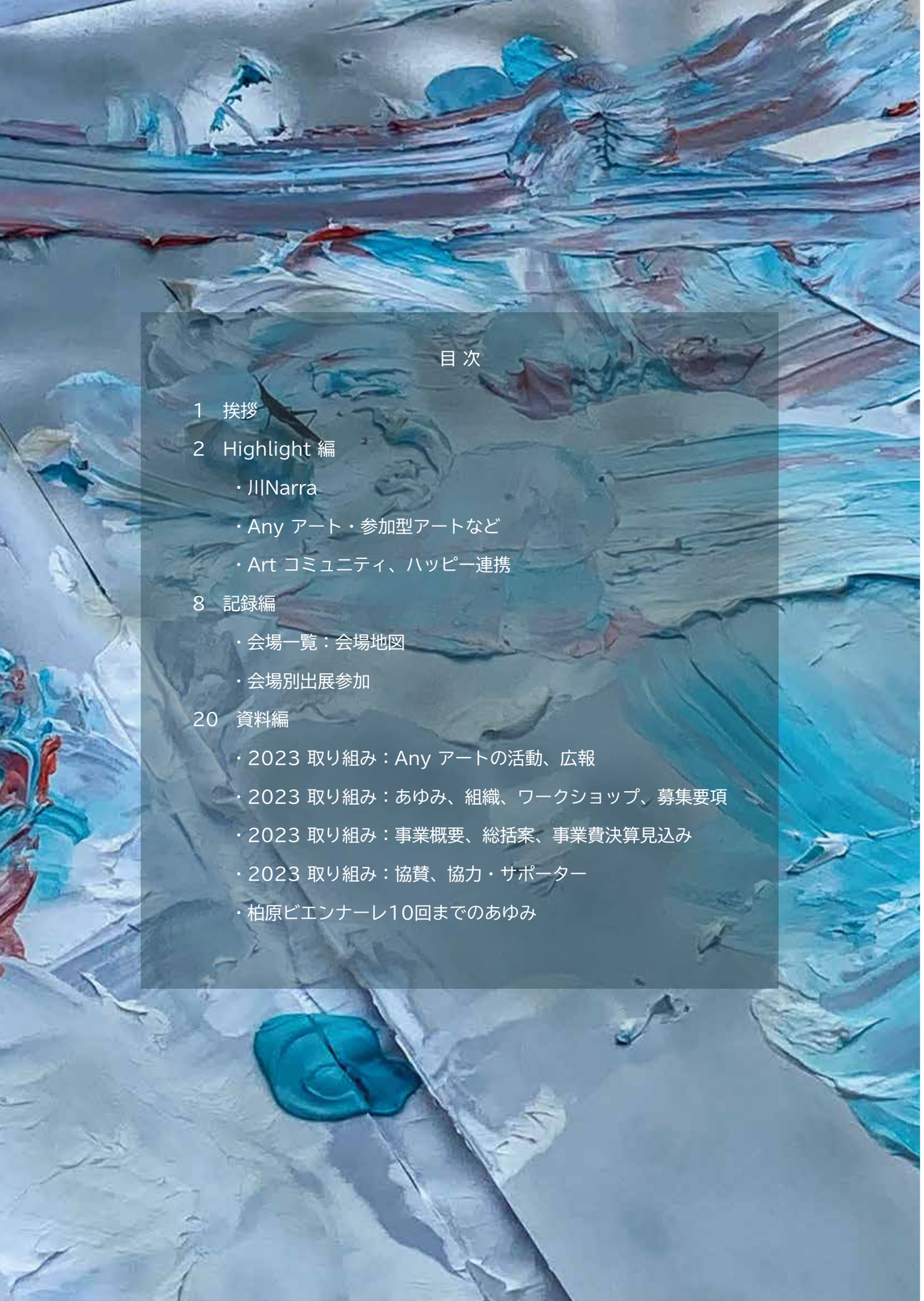
いつでも　どこでも　だれでもアート

かしわら芸術祭2023

第10回 柏原ビエンナーレ

Anyアート　Anyアート ： かしわら芸術祭実行委員会

後援　大阪府／大阪府教育委員会／柏原市／柏原市教育委員会



目 次

1　挨拶

2　Highlight 編

・川Narra

・Any アート・参加型アートなど

・Art コミュニティ、ハッピー連携

8　記録編

・会場一覧：会場地図

・会場別出展参加

20　資料編

・2023 取り組み：Any アートの活動、広報

・2023 取り組み：あゆみ、組織、ワークショップ、募集要項

・2023 取り組み：事業概要、総括案、事業費決算見込み

・2023 取り組み：協賛、協力・サポーター

・柏原ビエンナーレ10回までのあゆみ

かしわら芸術祭 2023

第10回 柏原ビエンナーレ

Ａｎｙアート：いつでも　どこでも　だれでもアート

今回の芸術祭は、豊かな自然に囲まれ歴史があり、都会からのアクセスが抜群に良い大阪柏原を舞台に、地元だけでなく大阪、奈良、愛知などから５７名・団体が出展参加し、まちを流れる河川や駅前ロータリー、寺社などの屋外空間にも広がり、空き店舗、コミュニティ会館など２０会場で開催しました。アフターコロナに向けて、アートを触媒に、「人」に着目し生活・地域・社会に生き方や考え方を「Ａｎｙアート」をコンセプトとすると共に、また「地域」の歴史特性を踏まえローカルな原点に回帰し≪川Ｎａｒｒａ≫をテーマに展示やインスタレーションなど多彩なアートの展開をめざしました。

「Ａｎｙアート」の具現化については、アーティストと一緒に子どもや大人のワークショップや、河川における市民参加型アートなど、地域の公共空間とアートの担い手の基盤拡張に向けた新たな取り組みを行い、また会場をめぐるクイズラリーも新たな試みとして、地域ならではの表情や風景を楽しむことをめざしましたが、まだ大きな広がりにはつながりませんでした。今後、かしわら芸術祭は、引き続き「Ａｎｙアート」を掲げ、地域と人々との関係性を深め、「アートを楽しむ」視点のもと「交流と連携」による新しい地域空間の創出をめざしていきます。

［会期］

10月21日（土）―11月12日（日）

［展示部門（屋内）］

10月28日（土）―11月5日（日）

10：00～17:00（初日は13:00から、最終日は16:00まで）

［パフォーマンス部門・アートイベント］会期中の土・日・祝日のみ

会場　柏原市域内の全２０会場

HIGHLIGHT 1

川Narra

「川をつなぐ」 樋口尚

5 長瀬川 16 了意川 川を活かした街のアートの装い 参加型インスタレーション

柏原の街の中心を流れる二つの川、長瀬川・了意川（アクアロード柏原/平野川）の川をつなぐアート野外インスタレーション。欄干に付けられた赤と黄の布が川に映り、布を観る人が非日常を体験し、水の流れと布が観る人に新しい発見を与える、川を活かした人と自然のアート：野外アートと市民参加アート

「奇妙な生き物の生態」

身体領域#02（鈴木 大翔／環や ゆかり）＆ 奥村俊彦（音楽演奏）

5 長瀬川 パフォーマンス

「NOAH」嶋田ケンジ 15 JR柏原駅西ロータリー

時空に漂う舟群

川Narra かしわら芸術祭2023のテーマ

川はむかしから人の営みの中で生きづいており、時には荒れることもあるが、しかし私たちを豊かにしてきたことは事実です。川は海につながる導線であり、川は土や石と共に、人、モノなど共に、「文化」をも運びます。すなわち川の機能とは、流通の場、経済の場、コミュニケーションの場、文化の場との「交流とつながり」です。≪川Narra≫とは、川の価値を認識し、新しい価値を見出すことです。

川のもつ機能「交流とつながり」に目を向け、「時の川」の船着場＝柏原から「未来に対して私たちが届けるべきものは何か」を多面的な角度から考え、地域の再創生をめざします。

- ≪川Narra≫を象徴する現代の船 ：「シン・柏原舟」
- ≪川Narra≫を多面的な角度から探索する ： 光・風・かたち
- ≪川Narra≫を子どもの自由な表現力で生み出す世界 ： ヒトをつなげ動かし子どもの未来に伝える

川Narra（柏原川物語）
Narra（ナラ）＝Narrative（物語）を短縮した造語

川Narraゾーン 1 ヤマニシデンキ

そらをおよぐさかなをつくろう！
＜ディレクター＞U-KO 子どもワークショップ展示

未来に届けたいもの　段ボールアート・宙吊り

こうのとりさゆり
- 滝はやがて蝶が舞う川へ•••羽を付けてちょうになろう！
  キルト・インスタレーション

家近 まさかず
- カフェめぐり in かしわら

一樹（いつき）
- 大和変化（やまとへんげ）
  大和川を渡る近鉄大阪線や川から見える様々な景色を

「aqua no.05／aqua no.06」松田 真魚

8 市民プラザ

川Narraをテーマにした作品群

「川Narra」のテーマを意識させる作品の登場

- 時空に漂う舟群「NOAH」（嶋田 ケンジ）
- みんなでつくろう！でっかい飛行船を（松田 真魚ワークショップ）
- 川をつなぐ＋：川を活かした街のアートの装い、風の川、川を彩る回廊(樋口 尚)
- デジタル大和川で遊ぼう：光の川（大阪芸大ArtScience）
- 空の下、みんなで描いたでっかい壁（ディレクターもっさんみいこ）
- そらをおよぐさかなを作ろう(U-KOワークショップ)
- 滝はやがて蝶が舞う川へ（こうのとりさゆり）
- 大和変化（やまとへんげ）一樹（いつき）
- My 川Narra作品展（2点）
- 水の泡を表現した「aqua」（松田 真魚）
- 水の都の物語（和田 誠之・濵 久仁子）参加型アート
- 宇宙の響き－しんこうー（もりたいよしこ）「時空を旅する船」
- ドキドキわくわく！ワークショップDAY（もっさんみいこワークショップ）
- おえかきストリートや子どもエコマント＊パレード（かしわら環境会議共催）

HIGHLIGHT 2

Anyアート

「棉を飾る：並べる・ふれる・つながる」

イエロー・ライン・プロジェクト

7 今町老人会館

2019年「河内木綿　ときをこえて」、2021年「わたの日　収穫祭」、2023年「棉を飾る」。棉の根っこ、幹、朔、綿実、手紡ぎ糸、草木染め・・・たくさんのつながりを感じます

「ピュアー!!　無目的の美しさ!!」

川原書道教室／溪月

7 今町老人会館

純粋無垢で今の等身大の作品。「比べない、競わない」をベースに、丁寧に書くのは他者のため、美しく書くのは自身のためと伝えています。自らを愛し遠い先を見つめる前に、今の自分の存在やできることに焦点を当てることに重きをおいています。

Anyアート

芸術祭という地域アートプロジェクトのめざす方向は、住民自らが地域や社会を新たな目線で見つめ、潜在する資源の発掘を通じて地域の歴史・文化・環境の持つ価値の発見、精神的な豊かさや新鮮な感動の創出、また新たな魅力の発信をする中で、「ヒト、コト、モノの交流」により地域の中から人々が生きがいや未来の展望を見つけることです。

そのため、<Anyアート>とは、日常的に（＝いつでも）、場所を選ばず（＝どこでも）、アーティストだけでなく、特に子どもや高齢者に着目（＝だれでも）、道具や素材を選ばずエコな（＝何でも）、を柱に底辺を広げるアート活動を展開し、アートの受容ネットワーク空間＝文化的コモンズ（誰もが自由に参加共有できる文化的な営みの総体）の構築をめざします。

Anyアートの三要素

Anyアートとしては、「いつでも　どこでも　だれでもアート」を理念にグループやインスタレーションに力点を置いた参加形態の追究と、地域空間・資源を生かすアート表現手法として次の三要素を最大限取り入れます。

● 参加型アート

「参加者もアーティスト」の考えに立つパラダイム転換をめざすアート

● エコアート

SDGsへの関心の高まりを背景に地域資源の活用や豊かな社会の構築への発展の可能性を生み出すアート

● インタラクティブアート

デジタル技術の活用で参加者の能動性が生み出す楽しむアート

参加型アート　Anyアートの三要素①

アーティストだけでなく、特に子どもや高齢者に着目＝だれでもが表現する「参加者もアーティスト」の考えに立つパラダイム転換をめざすアート。

「Anyアート」参加型アート

Anyアートの実現に向けて、アドバイザーを核にしたアートグループの組織化により、ワークショップ形式で具体化

- 川をつなぐ＋：川を活かした街のアートの装い、風の川、川を彩る回廊（樋口 尚ディレクター）
- 空の下、みんなで描いたでっかい壁 キッズライブペイント（ディレクターもっさんみいこ）
- ドキドキわくわく！ワークショップDAY おえかきストリート（もっさんみいこワークショップ）
- TRIO Exhibition Workshop：COOL & HOT いい顔ワークショップ「ポートレート イン かしわら」（講師：中澤てるゆき）
- でっかい壁にアニメをみんなでえがこう！　Myアートworkshop（森山 陽介ディレクター）

HIGHLIGHT 3

参加型アート

ドキドキわくわく！ワークショップ DAY④　おえかきストリート 作品展
もっさんみいこディレクター　市民プラザなど各会場や地域に展示

そらをおよぐさかなをつくろう！子どもワークショップ③
U-KO ディレクター　未来に届けたいもの　段ボールアート

「みんなでつくろう！でっかい飛行船を」
子どもワークショップ②：松田 真魚ディレクター

HIGHLIGHT 4

エコアート

エアークッションアート

エコアート　Anyアートの三要素②

　SDGsへの関心の高まりを背景に、道具や素材を選ばずエコな＝何でもを生かす地域資源の活用や豊かな社会の構築への発展可能性を生み出すアート。段ボールやエアークッションなどの廃材を活用したエコアート

- みんなで作ろう！でっかい飛行船を（松田 真魚ディレクター）
  エアークッションアート
- 空を泳ぐさかなを作ろう(U-KOワークショップ)
  段ボールアート
- 滝はやがて蝶が舞う川へ（こうのとりさゆり）
  廃材再生アート

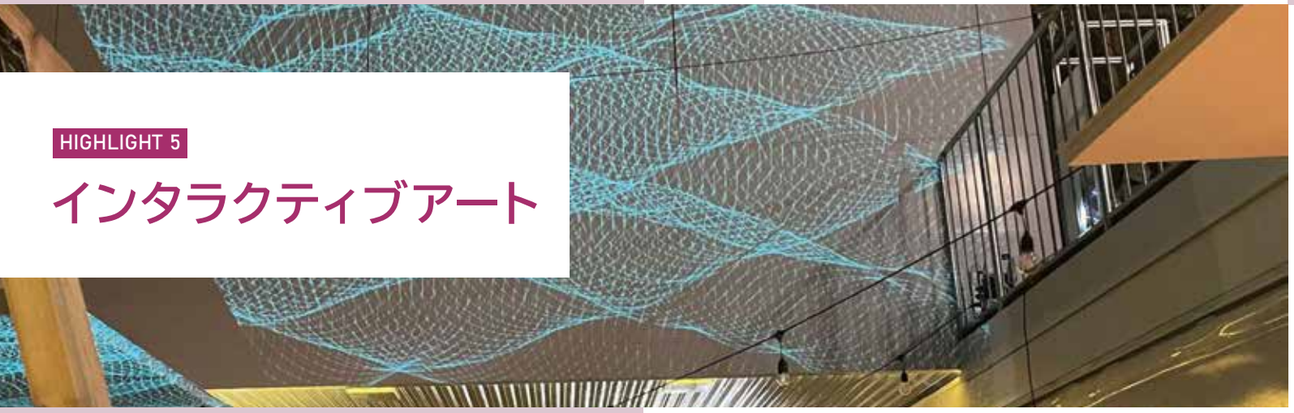
「滝はやがて蝶が舞う川へ･･･
羽を付けてちょうになろう！」
こうのとりさゆり

1 ヤマニシデンキ

キルト・インスタレーション：花ちょうちょと川岸の花「コウノトリキルト」を飛び出し、ecoアートに挑戦。地場産業のボタンTSUKASA釦の廃棄処分の釦穴に和布・浴衣・ネクタイなどを詰めて『花ちょうちょ』を表現。

廃品のワインコルクを用いた造形作品

「みんなで作ろう！でっかい飛行船を」
エアークッションアート（松田 真魚ディレクター）



HIGHLIGHT 5

インタラクティブアート

インタラクティブアート　Anyアートの三要素③

　アートの魅力や面白さを拡張する新たなデジタル技術の活用で参加者の能動性が生み出す楽しむアート

「光の川」 Team Digital ArtScience

10 大正通りネスト　デジタル大和川で遊ぼう

川から得たセンシンクグデータや多様な情報をもとに、古代から現代、未来へとつながる川の物語を体験するプロジェクションマッピングを活用したインタラクテイブアート。

HIGHLIGHT 6

まちじゅうアート

「NEST SOIREE～アートと花火と大和川～」（11月4日）

芸術文化により人・場所・活動がつながっていく有機的なネットワーク「文化芸術コモンズ」の構築

アートを触媒に「いかす、つながる、めぐる」など「Any アート」を掲げ、地域と人々との関係性を深め、「アートを楽しむ」視点のもと「交流と連携」による新しい地域空間の創出をめざしていきます。そのため地域の人々が、自ら主体的に関わり、考え、理解し、行動する具体的な芸術文化のコミュニティ活動の場を広げます。

ハッピー連携

芸術祭の会期前から 11 月末までの間に開催する地域の活性化につながる事業と、
広報活動などで相乗効果を生かし協力発展させていきます。

- 10/19 ～ 10/30　ギャラリー木苺（上市4）Art Collection M.Rose fashion planning if（冬服の展示会）
- 10/28 ～ 11/5　クレマチスなかじま（本郷2）ねんりん（日本刺繍・日本画・彫刻）
- 11/12　大正通りポケット・大正通りネスト 他（大正1）をかしわらマルシェ
- 11/13 ～ 11/17　市庁舎1 階　第10 回デイサービス作品展（介護保険デイサービス事業所連絡会）
- 11/19　文化センター3 階（上市4）　“どんな 、こんな” 第22 回ボランティア展
- 11/19　カタシモワイナリー本社・ぶどう畑・直売所・古民家 かたしもワイン祭り2023
- 11/25・26　根っこや（大正3）根っこや感謝祭
- 11/26　リビエールホール　安藤忠雄講演会（柏原ライオンズクラブ創立60周年記念）

ＪＲ柏原駅を中心にしたエリアで、まちじゅうギャラリー

会場の基本構成は、JR柏原駅を中心に近鉄堅下駅からオガタ通り商店街と大正通り商店街などをつなぐ街の中心市街コミュニティ会館などです。野外の公共的な空間の有効活用、商店街の空き店舗、空家などを積極的に活用し展示スペースの確保・拡大・常設化や継続的なアート空間としての活用可能性の開拓をすすめています。芸術の秋、かしわらのまちじゅうにアートがあふれる空間づくりをめざします。

会場一覧

1 ヤマニシデンキ
柏原市大県1-5-3

2 ふれあい館オガタ
柏原市清州1-3-21

3 木綿の店アナダ
柏原市清州2-3-25

5 長瀬川
アクアロード柏原

6 St.オガタ
オガタ通り商店街

7 今町老人会館
柏原市今町1-5-3

8 市民プラザ
柏原市上市1-2-2 アゼリア6F

9 ノーウェア柏原
柏原市大正1-3-34大正通りネスト

10 大正通りネスト
柏原市大正1-3-34

11 大正通りポケット
柏原市大正1-2-5

12 Bed&Bicycle
柏原市大正1-2-4

13 大正総合会館
柏原市大正1-5-19

14 JR柏原駅自由通路
柏原市上市1-2

15 JR柏原駅西ロータリー
柏原市上市1

16 了意川〈平野川〉
柏原小学校 東側

17 柏原神社
柏原市今町2-1-20

18 本郷・大正屋外
柏原市大県1-5-3

19 カタシモワイナリー
柏原市太平寺2-9-6

20 かふぇたかい
柏原市上市3-6-14

21 かしわらテラス
柏原市安堂町1-50

4 櫻湯
会場利用はキャンセルになりました。

1 ヤマニシデンキ

特別出展企画

TRIO EXHIBITION
グラン・ファミリー

「グラン・ファミリー（絵画の塔）」
「歴史とつながりの『顔』」
TRIO（中澤てるゆき・福田新之助・浜本隆司）

現代から歴史をさかのぼり日本人のつながりを探り歴史上の人物を多彩に表象する、日本の歴史上の人物肖像画群による絵画の塔。「私たち日本人は、みんなほぼ血の繋がりのある家族じゃないか」というような発想から歴史人を描いた「大きな家族（グラン・ファミリー）」。

「P's 物語」
TRIO（中澤てるゆき・福田新之助・浜本隆司）
資本主義の『顔』：三連作

「グラン・ファミリー 河内柏原の顔」
市川 和正

晴れたり曇ったり（木村 静／中浦 眞一）
● 空（くう）
空（くう）は空っぽの空ではない。ぴっしり詰まっているから空である。
決まった形がないから空である。こだわりがないから空である。

REIYA
● REIYA の世界

（ギャラリー木苺）

COOL & HOTいい顔ワークショップ「ポートレート イン かしわら」
［講師］中澤てるゆき
芸術祭参加の人たちによるワークショップ形式で家族、親族、友人、知人を描いた柏原ゆかりの人々の肖像群

吉田 佳寿
● ドラゴンの目、自由の扉
水彩えのぐで綴る色物語

森山 陽介
● MY アート作品集：小太郎岩・屏風岩

U-KO
● 異なる未来を想像する意識（再生アートインスタレーション）

でっかい壁にアニメをみんなでえがこう！
Myアートworkshop
＜ディレクター＞森山 陽介

サークル八尾二胡紬
● 中国民族楽器　二胡の演奏　音楽ライブ

幸＆イエローバンド
● 夢をハーモニカの音色にのせて　音楽ライブ

2 ふれあい館オガタ

カプリッチョ
● 自画自賛展：自由で気ままな作品たち

新田 昭一、谷口 眞人、中浦 眞一、市川 和正、越智 陽子、西村 美江、安尾 やよひ

3 木綿の店アナダ

青木 市子
● 陶芸：穴窯とブルーの器たち

6 St.オガタ

ブルーカーペット・St.オガタ

オガタ通り商店街を歩行者天国にしたワークショップブースと
ライブパフォーマンス舞台の二本立のイベント

ドキドキわくわく！ワークショップ DAY
＜ディレクター＞ もっさんみいこ
子どもが描いた作品は、各会場や店舗に会期中展示します

ぷっちょへんざ
● お面づくりワークショップ

草月
● 和菓子DEハロウィン手作り体験

かしわら環境会議共催
● 子どもエコマント＊パレード

柏原園芸部オガタの森
● 森のアクセサリーとクラウンづくり

7 今町老人会館

イエロー・ライン・プロジェクト
● 棉を飾る：並べる・ふれる・つながる
● 手作り品マルシェ：河内木綿を使った小物

藤川 視累
● 地上すれすれに飛ぼうとも、心は何時も空の上

作品を見て　野山で遊びたい。トンボを会場捕まえたい。自然へ誘い、ゲームもいいけど、
自場捕まえたい。自然へ誘い、ゲームもいいけど、自然の中での素晴らしい気付きがある。
竹細工（トンボ）

修徳学院女子寮
● 綿づくりから糸紡ぎに挑戦♡

みんなで使うスピンドルに模様をつけてみました。

7 今町老人会館

川原書道教室／溪月
● ピュアー!!　無目的の美しさ!!

書道とは古典に照らし合わせ型を習得し芸術性を高めると同時に人としての道を学ぶとてつもなく深いものですが、その始めの一歩として他者と比べての自分でなく自らを愛し遠い先を見つめる前に今の自分の存在やできることに焦点を当てることに重きをおいています。純粋無垢で今の等身大の作品をぜひご堪能ください。思わず心がほっこり笑みが溢れます。

柏原市立堅下北中学校 1 年
● 大阪といえば?!

授業で問いかけると、おもいつくまま口々にたくさんの答えが飛び交い、食べ物は粉もん、「たこ焼き」、「お好み焼き」に「串カツ」も！さらに、「漫才」、「ヒョウ柄を着たおばちゃん」、「飴ちゃん」…も共有する時間を経てから、夏休み中に１人２つ選んだ「大阪」をイラストで表現大阪には魅力がいっぱい！タイトルが同じでも、タッチがそれぞれ違うのが、また良いのです。

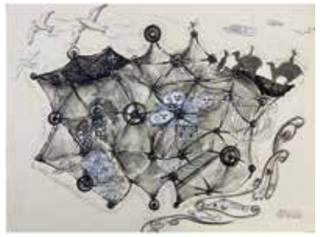
安田 紗依／西澤 明里
● エコで手作りのガラスのお店

リサイクルガラスを使ったアクセサリーや雑貨など

加藤 可奈衛
● Y･L･P拡張「Circulation」
（nest ＝ 循環-MN）

Y･L･Pの活動は、一年間を通じて、菜の花、ヒマワリ、河内木綿の栽培。それをきっかけに、地域の人や地域の「つながり」からいただく自然の恵みで何が生まれるか？

8 市民プラザ



みんなでつくろう！でっかい飛行船を
＜ディレクター＞松田 真魚 子どもワークショップ展示

子どもたちの未来に届けるタイムカプセル、
エアークッションアートなどみんなが参加してアートで飾る。

9 ノーウェア柏原

UENOYAMAKIKAKU
● 日々是自転車　温故知新

東大阪大学柏原高等学校 美術
● ぶどう：柏原の道を行く、多彩に実る収穫展

3年　石川／柏村／仲谷／南／南口
2年　伊藤／小林／丸山
1年　奥村／北田／福本／細田

10 大正通りネスト

Team Digital ArtScience
● 光の川 他
デジタル大和川で遊ぼう

岩山 竜明
● Liquid cat

木村 彰秀
● カオスの脳 - 流

木塚 あゆみ
● 枯れ草の息吹（大和川流域）

猪熊 祐斗
● 生命 / 逆流と誕生

BLLLE!(ﾌﾞﾚｯ!)
● 一億総反芸術　都市の吐出口

都市と地方の人口流動において、物体の移動と情報の移動は避けられない現象である。地方でリアルタイムに起こった出来事は、都会ではコンテンツとして消費され、都会は都会に住まない人間にも「都会」という概念がコンテンツとして消費される。日常にネタを提供する都市と日常がネタになる都市。この違いは起点にのみあり、人間そのものの流動、情報の流動、物質の流動、環境によって、あらゆるものが循環する。

11 大正通りポケット

身体領域 #02（鈴木 大翔／環や ゆかり）＆ 奥村 俊彦（音楽演奏）
● 奇妙な生き物の生態 パフォーマンス

ドキドキわくわく！ワークショップ DAY
＜ディレクター＞もっさんみいこ
子どもワークショップ

中島 直樹（コントラバス）
かつふじ たまこ（鍵盤ハーモニカなど）
松田 真魚（ライブペインティング身体表現舞踏技法）
● 季秋 パフォーマンス

他ジャンルの人とのパフォーマンスLIVE制作：コラボレーションを通して、その時代のその場所に偶然居合わせた奇跡と感動を、みんなと共有したい（松田 真魚）

12 Bed&Bicycle

空の下、みんなで描いたでっかい壁
＜ディレクター＞もっさんみいこ 子どもワークショップ展示

13 大正総合会館

岩本 貞泉・桃花会
● 心に残る言葉・人と共にある書

レモン哀歌・高村光太郎：光太郎と智恵子の愛の物語
土と火とともに生きる、古村其飯：土と火に向かい合って！！
俳句・自作：国東半島の磨崖仏を見て一句

西照 夢・夢蝶
● タイの手しごと展
タイ北部の少数民族とコラボレーション作品

家近 健二
● 雪原の人（ヒト）、寒い朝、小屋

松枝 道政
● 無題

永井 英千子
● ブイの夢

新よし子
● 春

福井 泰子
● ハンニバルのクリスマス

桐浴 邦好
● 地球と月／地球・月・太陽

友田 亮
● Everyday 13510211/かえるの坐禅

その他

東大阪大学柏原高等学校 だんじり同好会
● 響く心、輝く柏原

15 JR柏原駅西ロータリー

嶋田 ケンジ
● 時空に漂う舟群「NOAH」
陶芸インスタレーション

5 長瀬川（アクアロードかしわら）

アクアロードかしわら 親水テラス
身体領域 #02（鈴木 大翔／環や ゆかり）& 奥村俊彦（音楽演奏）
● 奇妙な生き物の生態 パフォーマンス

樋口 尚
● 川をつなぐ：川を活かした街のアートの装い
参加型 野外アートプロジェクト

16 了意川〈平野川〉

樋口 尚
● 川をつなぐ：川を活かした街にアートの装い
参加型 野外アートプロジェクト

17 柏原神社

若林 節子
● 土塊(つちくれ) ―祈りのカタチ―
大地の象徴＝土玉を使った自然との繋がりや祈りの表現

18 本郷・大正屋外

柏原工作室（岩崎 裕樹／大塚 薫）
● ストリートデコレーション2023
周辺の路地及び空地における制作物
既製品の材料を組み合わせてできた道端を飾る工作物

単管ベンチ（本郷路地沿）
単管パイプとアスファルトシートできたベンチと波板の小庇

レモン3(本郷空地)
空き地に植えられた10 本のレモンと添え木とクローバー畑

カワラ半ベエ(大正路地)
砂利道に敷き詰められた0.5㎥の瓦チップの道

コンタナ(大正通りネスト)
採集コンテナを積み重ねて屋根をかけた祠みたいな屋外棚

展示場所が街中に点在しているため、クイズラリーのエクスカーションとして実施

19 カタシモワイナリー

和田 誠之／濵 久仁子
● ソランデヴー／美酒の壷／いつかの川：水の都の物語

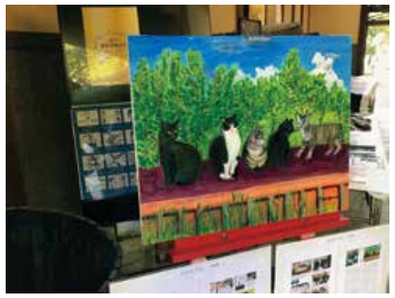
ソランデヴー：ブドウの木の下での出会い
美酒の壷：お酒のボトルの中に「いまはむかし」
いつかの川：水の都の物語

三日月の夜。満天の星だと思ったら美しい蝶の群れでした。
あの日、あの時に、あなたと見た川はもう見れないけれど、
川はいまこの時も流れています。

夏の鍛金、昆虫づくりワークショップ（2023年8月19日）
作品「いつかの川」で展示する蝶々の制作

くるくる（代表 西村 優子）
● 風にゆらめく希望～ハギレエコアート
小さな布も大切にしたクレイジーキルトは未来に託す希望
● 手づくり品マルシェ

ひとつとして同じものはない 小さな小さな布たちを生かす喜び
そんなことに一所懸命になる人たち それは未来への希望に満ちています
布たちの行く末は様々、捨てられることも多いハギレで作るハギレアート
私たちの未来は明るいと信じる気持ちを表現しました



長谷川 幸治
● 仲間に入れて

ブドウ酒の色のコンクリートの前で集まる野良ネコの集い

20 かふぇたかい

アトリエ MUGEN
● 自由な飛翔

平面・絵画（油彩・水彩）

小西 勝／塚口 隆子／森脇 二三江／米井 啓子
酒井 一美／刈谷 美千代／東前 和子

21 かしわらテラス

もりたいよしこ
● 宇宙の響き ―しんこう―
インスタレーション

新興・進行・親交・・・ 時空を旅する船 何があらわれ観えるのか どうぞ一緒にご乗船ください
歌いながら描くライブドローイング、制作自体がアートパフォーマンス作品

YouTube

もりたいよしこ「宇宙の響き -しんこう -」ダイジェスト版
https://youtu.be/6J4GJkSyA3s

樋口 尚
● 無重力の絵画/風と遊ぶ など
アート・パフォーマンス
参加型パフォーマンス

2023取り組み　Anyアートの活動・広報

アートツアー

「べらんだアートツアー　～かしわら芸術祭2023探訪～」

今回、初の試みとして会場をめぐるアートツアーを企画。(11月3日)

クイズラリー

Anyアート　クイズラリー

Anyアート23クイズラリー：川Narra系とAnyアート系、
さらに点在する工作系の3つのグループに分けてラリーを実施しました。

グッズ制作・販売

Anyアート　缶バッジ／手ぬぐい

クイズラリーのプレゼントとして活用。

広報活動

広報一覧：柏原市広広報誌「KASHIWARA」(10月号、11月号)、
自由通路PR作戦(JR柏原駅)、会場や協賛ボードを制作。
また、２種類の横断幕を制作しPR。

SNS情報発信

新たにFaceBookのページを開設、イベント案内、関連グループと連携を図った。

- Facebook ページ　https://www.facebook.com/anyartjp/
- Instagram　https://www.instagram.com/anyartjp/
- X(旧Twitter)　https://twitter.com/anyartjp

組織、あゆみ、ワークショップ、募集要項

＜Anyアート：かしわら芸術祭実行委員会体制＞

代表：吉原孝
副代表：加藤可奈衛、土井邦敏
事務局長・会計：小柴堅司
事務局次長：浜崎久枝、西村美江
会計監査：柏元真理子、松見博章
運営委員：島野友子、森山陽介、浅野幸治

＜取り組み：あゆみ＞2023

4/8 Anyアート総会
5/11 2023募集要項の発表(～7/12)
6/3 Anyアート理事会第1回
7/22 2023会場確認会
9/9 Anyアート理事会第2回
9/21 2023プログラム発表・プレスリリース
9/23 2023 出展参加者説明会
10/21 2023芸術祭開催、川の設営(撤去11/13)
10/22 St.オガタワークショップDAY
10/28 屋内展示開始(11/5屋内終了11/12をかしわらマルシェ)
12/6 Anyアート理事会第3回
12月中旬：記録集完成、参加者交流会

＜2023ワークショップ参加者数＞

WS① 6/18：66名　もっさんみいこ
WS③ 10/14：37名 U-KO
WS④ 10/22：82名 もっさんみいこ
WS② 10/28：17名 松田真魚
WS⑤ 11/3：51名　森山陽介
WS⑥ 11/4：8名 中澤てるゆき
川をつなぐ10/21-22：45名　樋口尚
川をつなぐ(撤去)11/13：7名　樋口尚

かしわら芸術祭2023（第10回 柏原ビエンナーレ）募集要項

Anyアート ―― いつでも　どこでも　だれでもアート

かしわら芸術祭 2023 は、「いつでも　どこでも　だれでもアート」を合言葉に日常の生活の中に、アートを生かし、地域魅力を高めることをビジョンとしたビエンナーレです。文化の日を含む期間中に開催されるこの芸術祭では、作品のテーマや形式は自由に幅広く募集します。参加資格の制限や審査はありません。皆様の創造力溢れる作品を心よりお待ちしております！

日時

2023年10月21日(土)～11月12日(日)
[展示部門(屋内)] 10月28日(土)～11月5日(日) 10：00～17：00(初日は13：00から、最終日は16：00まで)
[パフォーマンス部門] 会期中の土・日・祝日のみ
[アートイベント] ワークショップや物販、マルシェなど

会場

柏原市域内の４ゾーンのサテライト会場〈予定〉

- A ゾーン　大県・清州・堂島町：A1 ヤマニシデンキ(大県)　A2 ふれあい館オガタ(清州)　A3 櫻湯(堂島町)
- B ゾーン　上市・大正：B1 柏原市立市民プラザ(上市)　B2 ノーウェア柏原(大正)　B3 大正通りネスト(大正)
- C ゾーン　太平寺・上市・平野：C1 カタシモワイナリー(太平寺)　C2 かふぇたかい(上市)　C3 ほのぼのかたしも(平野)
- D ゾーン　野外ゾーン：D1 JR 柏原駅西ロータリー　D2 JR 柏原駅自由通路　D3 長瀬川アクアロード　D4 了意川　D5 柏原神社(今町)
- X ゾーン　その他：X1 どこでもよい　X2 その他

展示会場の詳細については「Any アート」ウェブサイトでご覧ください。
展示会場のご希望は先着順で決定いたします。ご希望多数の場合、「展示参加計画」に基づき調整いたします。あらかじめご了承ください。

出展種目部門と参加料

(A) 展示部門（平面・立体・インスタレーション）
団体：5,000円
個人　一般：5,000円 ／ 社会人学生：4,000円 ／ 学生：3,000円

(B) こども展示部門（高校生以下）
無料
出展希望者は、学校・園・絵画教室・画塾・家族などの単位で、
団体責任者を通じて一括でお申し込みください

(C) パフォーマンス部門
2,000 円（1 日当たり）

(D) アートイベント部門
1,000 円（1 日当たり）
展示部門とセットで3日以上行う場合は、一律3,000円とする。
物販及びワークショップなど単独の場合は、会場及び時期を限定しますので
事務局と調整していただきます。

※各部門については別紙「出展参加申込票」をご参照ください。
※出展参加料にはチラシ・DM・プログラム・記録集・会場費を含んでいます。

参加料お支払い方法

お支払いは銀行振込のみになります。下記①または②のいずれかの口座にお振込みください。出展参加申込書の到着と入金確認の双方をもって出展参加申込の完了とみなします。

７月１２日（水）までにお振込みください。

① ゆうちょ銀行
＜ゆうちょ払込用紙の場合＞
口座記号：00960-2
口座番号：275514
口座名義人：カシワラビエンナーレ実行委員会
＜ゆうちょ銀行振込の場合＞
銀行名：ゆうちょ銀行
店番：099（ゼロキュウキュウ）
預金種目：当座預金
口座番号：0275514
口座名義人：カシワラビエンナーレ実行委員会

② りそな銀行
銀行名：りそな銀行（銀行コード 010）
店番：柏原支店（店番号205）
預金種目：普通預金
口座番号：0462130
口座名義人：柏原ビエンナーレ実行委員会
（カシワラビエンナーレジッコウイインカイ）

【お問い合わせ】
Anyアート：かしわら芸術祭実行委員会
事務局所在地：　〒582-0005 大阪府柏原市法善寺１-６-５（友田方）
メールアドレス：artfes@anyart.jp　FAX：072-970-0500
ウェブサイト：　https://anyart.jp

お申し込み・当日までの流れ

1 出展参加申込　申込受付期間：５月１５日（月）～７月１２日（水）

申込方法
下記のいずれかの方法でお申し込みください。
① 「Any アート」ウェブサイトの申込フォームから必要事項をご入力ください。
② 所定の書類「出展参加申込票」を電子メールまたは郵送・FAX で提出してください。

第Ⅰ種別：団体・グループ、こども 及び インスタレーション
第Ⅱ種別：個人、パフォーマンス、アートイベント
第Ⅰ種別は、「展示参加計画（A4 自由記述）」を必ずご提出ください。
第Ⅱ種別は、「展示参加計画」又は「ポートフォリオ（略歴及び作品写真集）」があればご提出ください。
こども展示部門参加者は、団体責任者が一括の上、出展参加をお申込みください。

申込フォーム

2 会場確認会　7月22日（土）14:00 ～ 16:30

出展参加申込後、調整結果確認のため、会場確認会を実施します。
集合場所：アゼリア柏原６Ｆ 柏原市立市民プラザ 中会議室（JR柏原駅より徒歩1分）

3 参加者説明会　9月23日（土）14:00 ～ 16:30

ポスター・DMの配布、役割分担の取り決め、確認などを行ないます。
こども展示部門の参加者は、団体責任者が代表でご出席ください。
集合場所：アゼリア柏原６Ｆ 柏原市立市民プラザ 中会議室（JR柏原駅より徒歩1分）

4 作品搬入　展示部門（屋内）　10月28日（土）9:30 ～ 12:00

各会場にて出展準備を行っていただきます。

午後　[オープニングイベント]　詳細は別途お知らせいたします。お知り合いの方もお誘いの上、ぜひご参加ください。

5 作品搬出　展示部門（屋内）　11月5日（日）16:00 ～ 18:00

会場下見会　自由参加　6月３日（木）10:30 ～ 12:00

事前に展示会場をご覧いただける機会です。出展参加申込を検討中の方もご参加いただけます。
集合場所：JR「柏原」駅 改札口（近鉄堅下駅から徒歩7分）　現地集合現地解散です。
参加ご希望の方は前日までに事務局宛にメールでお申し込みください。

JIINarra　Narra(ナラ)＝Narrative(物語)を短縮した造語　https://kawanarra.anyart.jp/

かしわら芸術祭2023

かしわら芸術祭2023 JIINarra 川物語実行委員会

かしわら芸術祭は新たな価値の創造をめざす「アートなまちづくり」実現に向け、独自性をもった地域芸術祭＜Any アート＞への進化が求められています。大和川など地域の歴史特性を踏まえ、川のもつ「交流とつながり」に目を向け、「時の川」の船着き場＝柏原から「未来に向けて私たちが届けるべきものは何か」を多面的な角度から考え、地域の再創生をめざす「川物語」をテーマとします。またグループやインスタレーションに力点を置いた参加形態の追究と、地域空間・資源を生かすアート表現手法として次の三要素を最大限取り入れ、Any アートの見現化を図ります。

- 参加型アート：「参加者もアーティスト」の考えに立つパラダイム転換をめざすアート
- エコアート：SDGs への関心の高まりを背景に地域資源の活用や豊かな社会の構築への発展可能性を生み出すアート
- インタラクティブアート：デジタル技術の活用で参加者の能動性が生み出す楽しむアート

2023取り組み 事業概要、総括案、事業費決算見込み

芸術の秋、かしわらのまちじゅうにアートがあふれる

かしわら芸術祭 2023 事業概要

日程：10 月 21 日 (土) ～ 11 月 12 日 (日)
　　展示部門（屋内）：10/28(土)11/5(日)
タイトル：かしわら芸術祭 2023（第 10 回柏原ビエンナーレ）
会　場：柏原市域内のサテライト会場 20 ヶ所：屋内外でほぼ半分
出展参加数：57 個人・団体グループ：大阪だけでなく奈良／愛知なども含め総勢 450 名
部門別：展示 51、パフォーマンス 3、アートイベント 4、Any アートワークショップ 7
連携・サポーター：協賛 48、連携 8、サポーター 112 人
協賛：48 企業団体へと協賛増 (前回 18 から 3 倍増)
企画≪特別出展企画≫
グラン・ファミリー（TRIO）：日本の歴史上の人物とつながりを探る肖像画群の絵画の塔
≪川 Narra ≫テーマ 6 会場でワークショップ作品など 12 作品
①「シン・柏原舟」を象徴する現代の船
・「NOAH」時空に漂う舟群、大空を漂う飛行船
②多面的な角度から川の探索：光・風・かたち
・「川をつなぐ +」「光の川」 川物語の体験インスタレーション
③子どもの自由な表現力で生み出す世界
・「川から生まれるかたち」「空の下、みんなで描いたでっかい壁」
・ワークショップ DAY ／子どものえがくドキドキわくわく世界
特別出展アーティスト
　TRIO：グラン・ファミリー、ポートレイトなどワークショップ
　嶋田ケンジ：「NOAH 」
　大阪芸大アートサイエンス：「光の川」
　樋口尚：川をつなぐ＋
　若林節子：柏原神社「土塊」
　U-KO：異なる未来を想像する意識（再生アートインスタレーション）
　松田真魚：季秋 (Live　Art　Performance)
　もっさんみいこ：ワークショップ DAY
新たな種別の発掘
・新たなアーティスト群
　ヤマニシデンキ：一樹、REIYA、家近まさかず、
　今町：川原書道教室、竹細工@藤川、綿@修徳学院、エコ手作りガラス
　大正ゾーン：芸術系大学生や高校生の出展：大阪芸大アートサイエンス、柏原高校美術
・テーマのユニーク性
　大正 NEST など：自転車コレクション、柏原工作教室
・楽しさと不思議さを生み出すライブパフォーマンス
　サークル八尾二胡、幸 & イエローバンド
　もりたいよしこ、樋口尚、身体領域 #2（愛知）、松田真魚

＜焦点＞

コンセプト・テーマ、独自性：Any アート、川 Narra
出発点：アフターコロナに向けて、再創生の触媒としてアート
・ヒトの交流や結びつきの拡大、川のもつ機能「交流とつながり」
・社会の閉塞感からの脱却と未来に対する希望や気力の回復
方向：「Any アート」をコンセプトに、≪川 Narra ≫をテーマに、ディレクターを核にしたワークショップで実現
参加型アートの展開：Any アートの具現化
・手ぬぐい Week やクレイジーキルトの展開があるが、前回の「川をつなぐ」が初めて、次の参加型アートプロジェクトやワークショップ方式採用。
・10/21 川をつなぐ＋　樋口尚
・10/14 そらをおよぐさかなをつくろう！　U-KOworkshop
・10/22 ドキドキわくわく！ workshopDAY　もっさんみいこ
・10/28 みんなでつくろう！でっかい飛行船を　松田真魚
→参加数は、サポーターを含め延べ 311 名、子ども 181 名。ディレクターを支える Any アートの活動力の強化と参加者拡大。

前進面と問題点・課題

来場者数の今回の減少は、前回のヤマニシデンキのジオラマや、妖怪大銭湯の櫻湯などの話題性に欠けたのも原因。野外展示の増や野外パフォーマンス等が新たに加わり、またクイズラリーにより回遊性もアップし、芸術祭のブランド訴求での前進面が生まれた。Any アートの裾野や土台づくりには、時間的物理的な制約と位置づけと理解が不十分な中、当初の効果を十分生み出せなかった。また川物語とアートにおいては、柏原に限定せず広域的・継続的展開が必要。さらに、芸城祭としての賑わいの創出に向けて、以下のような課題解決が求められています。
①参加型アートのワークショップ：参加者募集、サポーターやエコ素材にたいする理解や確保も不十分で、参加者も大きく拡大できなかった点、広報や Any アートの位置づけの弱さの解決必要。
②「アートでまちを巡る Any アートクイズラリー」：参加者 30 名 (内、手ぬぐい配布 14)。企画案内マップ、賞品／グッズの確保、運営マニアル用意など、はじめての試みとして効果もあったが課題もありその整理が必要。
③アートツアーとアートプロモーション：企画運営の外部化方針を取ったが取り組みも遅く部分的、今後の拡大が不可欠。
④協賛：新たにロゴ表示方式の変更で、デザインがスッキリ、ページ数減で、市助成金削減分を解決したし、プログラムだけでなく、新たに会場ボードの PR も実施。
⑤ PR 戦略：会場別ボード、JR 柏原駅自由通路 PR、のぼりの設置など新しい前進はあったものの、町会掲示板活用など、まだまだ不十分。
⑥ SNS 戦略：従来の HP でのイベント案内や Facebook からのみで、特にインスタグラムに力点が、ほとんど実現できず、発信も遅いので体制も含めた日常的な解決が必要。
⑦インフォーメーション設置： JR 柏原駅改札前など PR 機能やクイズラリーの対応、マルシェ、ゲーム、イベントなどのインフォメーションの機能と役割の総合的な機能整理が必要。
特に会場当番の必要性を含めた関係調整が重要。今回は「わ」や大教大など学生ボランティアのサポートで助かった。
⑧ライブパフォーマンス（会場、観客、日程）：芸術祭らしい可能性が高いが、組織的な対応強化が必要。
⑨物販と展示の関連整理： St. オガタやをかしわらマルシェとの整理は前進。引き続き日常的に積極的な連携協力が求められる。
⑩会場整備の役割と意義：今回、大正ポケット広場片づけ、ヤマニシデンキの壁塗り、JR 柏原駅前草刈りなどは、事務局だけの小規模な対応で実施したが、お掃除隊など他地域での芸術祭的な広がりとなっていない。
⑪現状の組織連携改善：地域自治組織との連携や行政の機能分担と有効活用が継続的に求められる。

総括案：2023 の評価と対応方向

今回に関して、独自テーマ設定や参加型アートなど Any アートの具現化の取り組みやインフォメーション設置、クイズラリーの実施など前回の課題解決や前進はあるものの、来場者やサポーターも含め従来の状況を変える事業展開には至っていない。
アートを触媒に「いかす、つながる、めぐる」など「Any アート」を掲げ、地域と人々との関係性を深め、「アートを楽しむ」視点のもと「交流と連携」による新しい地域空間の創出をめざしていくには、次の 4 点の対応方向が求められている。

公共空間を有効活用した展開

・長瀬川・了意川の「川をつなぐ」、JR 柏原駅ロータリーの「NOAH」、Street オガタのワークショップ DAY、市民プラザロビーのこども WS 作品、JR 柏原駅自由通路 PR、かしわらテラスパフォーマンスなど有効活用。また横断幕を 2 本制作し、芸術祭の PR 拡大に寄与した。
→展示活用面では、許認可調整など拡大・定着し、また川の展示はインパクトを与えたが新たな展開や広がりはこれから。
→会場として今後アート拠点として継続発展の可能性は、ヤマニシデンキ、大正通り NEST ゾーン、今町老人会館などが定着してきたが、日常的安定的な拠点確保が求められる。また、地域からの Any アートに対する期待の高まりが醸成できていないのも現状では限界がある。また「柏原レミダ」などの実現のシナリオづくりが必要。

事業企画運営の外部化

・プロモーション事業は、「Any アート PM ツール」を作成し、グッズ関係は Any アート手ぬぐい、缶バッチなど芽が生まれ、またアートツアーは、ライブパフォーマンスともつながった。印刷・SNS 戦略などデザイン・プレゼン関係の依存も不可欠であるが、財政的な担保も必要。
→今回のテスト実施から本格展開に向け、事業企画運営の外部化により加速化が求められる。

事務局体制の強化

・前回から事務局体制を変更したが、行政等の公共空間の関係や広報関係の引き継ぎはスムーズな実施、協賛企業の拡大と財政対応、新たにクイズラリーやインフォメーションの設置も実施した。また会場別案内についても、今町老人会館やワイナリーでのアーティストと連携による作品紹介についても前進した。
→会場分担型から、広報・ロジステック・情報発信交換など事務局での横割りのネットワーク調整が脆弱であり、人的若返りも含め体制の強化が不可欠。
→会場マニアル・資材の整備、受付機能の明確化など、事務局の運営あり方など有機的な結合。

組織論上の課題

・目標設定：めざすべき組織目標：「Any アート」のスローガン的な一般理念の限界を越えるには、芸術文化により人・場所・活動がつながっていく有機的なネットワーク「文化芸術コモンズの構築」との整理が必要。
＜文化芸術コモンズ：アートの受容ネットワーク空間＝文化的コモンズ（誰もが自由に参加共有できる文化的な営みの総体）の構築＞：別府・八尾・神戸長田などがめざす . 例：八尾（やおうえるかむコモンズ）
・人的機能面の確保：新たに設置した理事会の人的な有効活用と拡充と共に、地域内外におけるネットワーク機能の脆弱性の解決が課題。
特に、コンセプト／テーマに沿った企画内容を固めるディレクターと共に芸術祭を広げ楽しめるビジネスプロモーション機能と、事務局機能の人的活性化と連携強化。
→サポーター問題：発掘、養成など抜本的な対応が不可欠。
→特別出展作家の開拓：展示機能の充実支援・会場運営支援。
「芸術祭」としての看板を掲げた展開をめざすのか、「市民文化祭」とし収斂するのか、今回の総括が組織的な分岐点にある。

かしわら芸術祭 2023 決算見込み　2023.12.06

〈収入の部〉	科目	23収入見込額	21決算額	内訳（前々回実績）
	繰越金	131,575	220,889	91,534
事業収入	協賛広告	480,000	160,000	155,000
	寄付金	3,000	110,000	134,900
	市助成金(1/2)	10,000	280,000	238,000
	出展料	182,000	262,000	216,000
収入合計		806,575	1,032,889	835,434
〈支出の部〉	科目	23支出見込額	21決算額	内訳
事業費	賃借料	227,600	212,000	展示会場使用料11箇所
		23,000		全体会議室料
	謝金	10,000	85,000	講師謝金など（AT,WSなど）
	印刷製本費	27,830	17,600	募集要項
		54,440	101,847	プログラムなど
		30,000	0	ポスター
		70,000	60,000	記録集
		23,100	0	協賛ボード
	委託料	105,000	71,000	ビジュアルデザイン/印刷物制作
	通信運搬費	28,000	78,417	通信郵送費(募集要項発送等)
		25,000		記録集発送
		5,016		HP情報発信費（サバー管理費）
		15,500		作品搬入レンタカー代
		10,000		イイネットワイド会費
	保険代	12,600	13,700	イベントなど市民活動行事保険
	消耗品費	7,000	162,734	WS材料費など
		8,000		展示用資材
		0		コロナ対策用品
		50,000		Anyアート手ぬぐい：特別会計へ
		25,000		印刷関係消耗品など
	旅費	0	57,800	講師、学生サポーター等
	交流会費	20,000		
	その他	0	2,000	
管理費		20,000	3,500	会議室料
支出合計		797,086	865,598	
繰越金		9,489	167,291	

ご協賛

KASHIWARA LIONS CLUB 60th ANNIVERSARY 1963-2023
古賀印刷
ひかり薬局
いたに萬幸堂
杉本歯科医院
新築・リフォームでつながる。パナソニックの住まいパートナーズ 田中住宅設備株式会社
ホームベーカリー ぱんのいえ
東大阪大学柏原高等学校
ファイト!! マルシェ＆カフェ you are what you eat
Mallow hair
医療法人 聖心会 大島医院 内科・小児科・放射線科
カシケイ 柏原計器工業株式会社
木材・新建材・住宅機器 北口ホ材株式会社
クレマチス なかじま
KUSAKURA
茶吉庵
LIVING KODAMA
since 1971 Kitchen Cafe アイン
Pastel 井村電気商会
オガタ通り商店街
COTTON HOUSE 岡村製油株式会社 直売所
ほねつぎ・はり・きゅう 片岡整骨院
gallery 木苺
かふぇ たかい
株式会社 釘忠商店
Jcafé
草月
総合事務用品・事務機器・印刷・印章 リラヤマ文具
PAPER NEW WAVE DAIWA ITAGAMI
tant-tant タントタント
Ciao Pasta & Pizza
茶臼山画廊
中西白牡丹
漢方の 西田薬品店
安全な米・穀・食品 根っこや
NOWHERE KASHIWARA
株式会社 花幸
PANA PLAZA パナプラザ ヤスノ
coffee & lunch Barrel
HOLBEIN
まあや
メガネの平和見
mussashiko
スーパーヤオヒコ
cafe riso

サポーター

出展者

新よし子、青木市子、家近健二、岩本貞泉、一樹、岩山竜明、市川和正、川原渓月、桐浴邦好、木村彰秀、木村静、木塚あゆみ、こうのとりさゆり、小西勝、永井英千子、中浦眞一、西照　夢、新田昭一、西澤明里、濵久仁子、藤川視累、福井泰子、松枝道政、もりたいよしこ、安田紗依、
井ノ浦英子、岩﨑陽子、浦野良子、遠藤サチヨ、越智陽子、刈谷美千代、片岡三枝子、久保田千景、駒田順子、酒井一美、住吉聖子、谷口眞人、塚口隆子、
辻野育子、辻野親子、出野陽園、冨永涼月、西野てるみ、野口静月、濱本太津子、東前和子、平井真理、平畑保之、二神当代、福井恒子、南虹月、村上恵美子、
森脇二三江、安尾やよひ、山本早霧、柳浦成子

一般

青木雅代、浅野千里、井上知子、井上正人、稲森親子、茨木ヒロ子、乾明子、神崎ともこ、坂本茂人、三田文美、先田桂奈、津田百香合、杉本倍子、塚畝八重子、
辻野静代、友谷陽彦、中川雄彦、原田敦子、東森美尚、船野智加枝、松井靖子、間下和美、南孝明、宮脇、村岡洋子、安田利秋、山本ひさ子、山本道子、山本洋子、
八束扶二子、ＲＥＩＹＡママ

学生

岩村木乃春、生駒絢土、岡本緯吹、杉浦七弥、田端佑衣、田道玲向、中村奏宥、朴世花、三村愛実、八木紗羅

Ａｎｙアート理事、運営委員、事務局など

加藤可奈衛、桐山知兼、西村優子、平井亙、松川哲也、森山陽介、浅野幸治、小柴堅司、島野友子、友田昌秀、土井邦敏、西村美江、浜崎久枝、松見博章、吉原孝

５０音順／敬称略
かしわら芸術祭の開催にあたり、110名を超えるサポーターの皆様にご支援いただきました。全ての方々のお名前を挙げることはできませんが、皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

KASHIWARA biennale

柏原ビエンナーレ10回までのあゆみ

第1期

2004/10/01～06　第1回柏原ビエンナーレ展：上本町ギャラリー、呼びかけ人3 名
2006/04/26～30　第2回柏原ビエンナーレ展：柏原リビエールホール
2008/05/13～18　第3回柏原ビエンナーレ展：　同上
2010/05/11～16　第4回柏原ビエンナーレ展：作家会（代表・家近、事務局長・川俣）

第2期

2012/05/12～17　第5回柏原ビエンナーレ　”柏原から発信する！美術展”
作家会（代表・森田、事務局長・村瀬）リビエールホール
サテライト会場：古町、オガタ通り商店街
記念シンポジウム開催（フローラルセンター）　特集作家制度設置
2014/11/23～30　第6回柏原ビエンナーレ　“柏原から発信する！美術展”
会場：リビエールホール、古町・太平寺、本郷、オガタ通り商店街に拡大
子どもアートフェア部門開設　アーティストトーク開催　記録集発行
2016/10/09～16　第7回柏原ビエンナーレ展：柏原ビエンナーレ実行委員会、アッポコ）
リビエールホール及び市内4ゾーン13ヶ所のサテライト会場

第3期

2019/03/14　KASHIWARA芸術祭実行委員会の設立：作家会から地域関係者主体へ
2019/11/02～16　KASHIWARA芸術祭2019（第8回柏原ビエンナーレ）Anyアート
2020/02/01　Anyアート設立：KASHIWARA芸術祭実行委員会とアッポコ合同総会
2021/10/30～11/07　かしわら芸術祭2021（第9回柏原ビエンナーレ）Anyアート
2023/10/21～11/12　かしわら芸術祭2023（第10回柏原ビエンナーレ）Anyアート

［表紙裏］
「季秋」松田真魚（ライブペインティング身体表現舞踏技法作品）
［裏表紙裏］
「奇妙な生き物の生態」身体領域 #02（鈴木 大翔／環や ゆかり）＋副島 日毬 & 奥村 俊彦（音楽演奏）
［裏表紙］
「川をつなぐ」樋口尚／写真：桐山知兼

Anyアート：かしわら芸術祭2023 記録集
発行者：Any アート：かしわら芸術祭実行委員会
発行日：2023.12
編集・デザイン：松川哲也、浅野幸治
表紙デザイン・写真：向野むぎ（バカンス）
写真：村尾尚子（バカンス）

主催・お問い合わせ

Anyアート：かしわら芸術祭実行委員会

[事務局所在地] 〒582-0005 大阪府柏原市法善寺1-6-5（友田方）

[メールアドレス] artfes@anyart.jp　[FAX] 072-970-0500

@anyartjp　@anyartjp　AnyArt　https://anyart.jp　Anyアート